

⑩ 谷津観音堂	⑪ 柏座二丁目の庚申塔（女人庚申塔）
 昔は「皆慶寺」と称し、足立坂東 33 ヶ所 26 番札所でした。明治 5 年の廃寺に伴い観音堂も廃堂となりましたが、地元の人々の手によって復興しました。本尊は十一面観音菩薩です。	 この庚申塔は講中の名が、十一人の女性のみが名記された非常に珍しい塔です。 建立は享保 13 年（1728 年） ちなみに向山の塔は二十六名すべてが女性だとか。 （上尾の民話）
⑫ 春日神社	⑬ しょうつかの婆さん（奪衣婆）
 明治 41 年（1904 年）に上尾町うち柏座、谷津、春日谷津にあった芝宮社、春日社、氷川社の三社が合祀し、今の春日神社と称しました。	 「しょうつか」は「そうずか」（葬頭河）がなまったもの。民間信仰では邪悪なものではなく、疫病除けや咳止めに効くとのことです。（上尾の民話） 造立は天和 2 年（1682 年）
⑭ 弁財の庚申塔	⑮ 昌福寺
 コミュニティーセンター前の道路対面の「弁財通り」をしばらく行くと、途中に弁財会館前に白い斑点のある庚申塔があります。（造立年不明）	 昌福寺は、はなみずき通り沿いの鴨川側にある曹洞宗の古刹。門前には庚申塔などの石仏が並んでいます。 本尊は釈迦如来です。
⑯ 日乗院	⑰ 柏座三丁目の庚申塔
 江戸時代には寺領 10 万石を有し、末寺が多く存在していました。門前左側にある庚申塔は寛文 10 年（1670 年）の建立。 ご本尊は十一面観世音菩薩立像です。	 柏座三丁目にある庚申塔は、高層マンションの片隅に植物に囲まれながらひっそりと佇んでいます。 建立は元禄 13 年（1700 年）です。

ゴール 上尾駅西口

	今回の「上尾駅周辺史跡めぐり」はいかがだったでしょうか。 中山道上尾宿は日本橋から 5 番目の宿場町。（ご宿場印めぐり展開中！） 江戸末期から明治にかけて 3 回の大火に見舞われながらも、先人の弛まぬ再建のご努力により、人口 23 万人都市（埼玉県 7 番目）として発展を遂げてきました。 上尾は、宿場町としての往時を偲ぶ際立つ遺構はありませんが、広く街の散策を通して多くの気づきと出会いがあり、所どころ昔の余韻を残している場所が沢山あります。 またの機会に違う表情の上尾を発見してみませんか。 またのお越しをお待ちしております。
--	---